

V L R - 7 0 樹脂ロングパイプ 設置資料

- V L R - 7 0 樹脂ロングパイプは、2 2 8 mm以上、5 8 6 mm以下の外壁厚さで V L R の取付が可能になります。

1. 同梱部品の確認

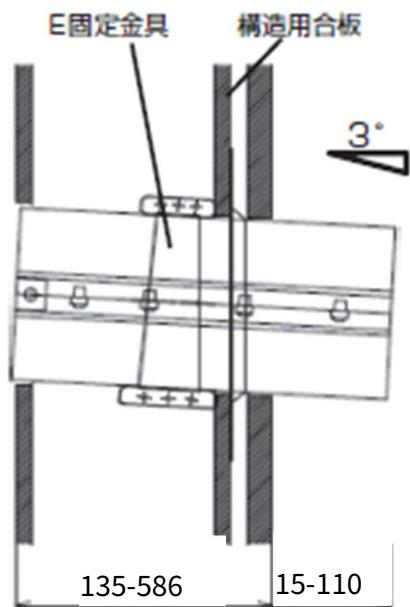
部品名称	数量
V L R - 7 0 樹脂ロングパイプ	1
E V A 気密テープ (1 2 6 0 mm)	1
V L R - 7 0 樹脂ロングパイプ設置資料	1



V L R - 7 0 樹脂ロングパイプ



E V A 気密テープ



2. パイプの長さが3 1 1 mm以上必要な場合の対応方法 (壁厚2 9 6 mm以上)

- ① V L R - 7 0 樹脂ロングパイプ (以下、パイプと記載) は、外装側仕上げ面から 2 5 mmを切断して使用します。
- ② 内装仕上げ面からパイプの下端が + 3 mmから - 1 2 . 5 mmになるように配置します。
- ③ 外装仕上げ面から 1 5 mm以上、1 1 0 mm未満外に出る長さに切断します。

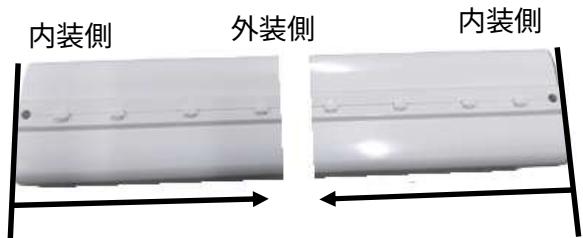
✓ ご注意

- パイプ側面の穴のうち、内装側は必ず残してください。
- パイプ側面の穴のうち、外装側は必ず切断してください。



3. パイプの長さが244mm以上、311mm未満の場合の対応方法（壁厚296mm未満）

- ①パイプの中央で2分割に切断します。
- ②パイプの端面から中央部の切断部までの長さを必要な長さに切断します。その際、中央の切断部側（右図の矢印の先端側）で長さを調節します。
- ③内装仕上げ面、外装仕上げ面への配置は2項を参照します。



MEMO

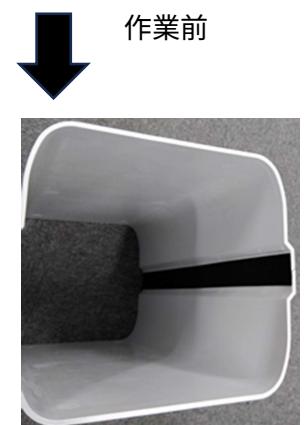
- パイプの長さを311mm未満で使用する場合は、パイプ1本を中央で分割して、VLR-70 2台分にして使用することが可能です。

4. パイプの周囲がウレタン等の充填により気密が確保されていない場合の処理

- ①パイプ内側側面の上下が組み合わさっている溝2ヶ所に、パイプの室内側前端から、同梱のEVA気密テープ（以下、テープと記載）を2分割して貼ります。

✓ ご注意

- テープを貼る際に、テープを引っ張りながら貼らないよう注意してください。引っ張りながらテープをパイプに貼ると、ファンユニットモジュールを出し入れする際にテープが破損しやすくなります。
- 1本のテープから左右両方分を切り出して、必ずパイプ内側の左右両方の溝にテープを貼ってください。



- ②テープがパイプからはみ出した分は、カッター等で切り取ります。
- ③②の工程後にパイプを切って長さを調整する際は、テープが剥がれないよう注意して切れます。

作業後

MEMO

- パイプの周囲が発泡ウレタン等の充填により気密が確保されている場合は、テープをパイプ内側の溝に貼り付ける作業は不要となります。
- パイプの長さ調整のために予めパイプを切る場合は、パイプを切ってからテープを貼ってください。